



謹んで新春をお祝い申し上げます

会員の皆様におかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は大月町観光協会に多くのお力添えいただき誠にありがとうございました。今年も会員様やお客様の満足度の向上に対して、スタッフ一同努めて参ります。皆様のより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年 元旦 大月町観光協会長 安田理香

今年はどうぶり高知旅!滞在時間拡大がカギ

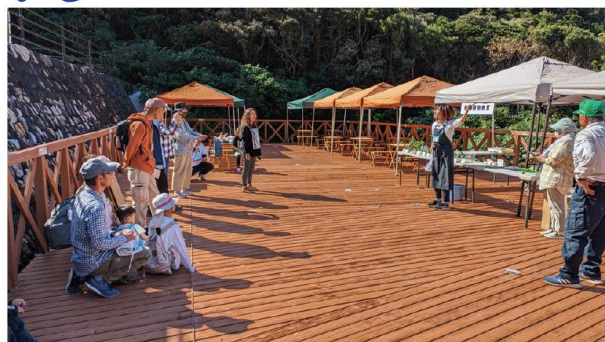
新型コロナ騒動もひと段落し、昨年はドラマ『らんまん』ブームもあって、わが県に熱い視線が注がれる一年でしたが、大月町が売りとする海や体験といったコンテンツには結びつきが弱かったこともあり、各所からもっと町を盛り上げる施策はないのか、という声があがっておりました。

そんななか、高知県が本年4月から新たに立ち上げる観光戦略のキャッチフレーズが『**どうぶり高知旅キャンペーン**』に決まりました。コンセプトは「**極上の田舎、高知**」。県外からの観光客がじっくりと過ごしたくなり、その後も何度も訪れたいくなるような旅の過ごし方を提案していきます。

飲食や宿泊などの「観光総消費額」を去年の1.4倍にあたる1389億円に増やすことなどを目標に新たな観光資源の発掘を進めていく4か年計画となっています。

都市部や高知・松山市内から距離があり、来たからには長く滞在してもらいたい、という常なる課題を抱える大月町の観光事業において、とても相性のいいテーマだと思われます。年始から今年度末まで時間がない中で、さっそく新たな観光プランの企画や磨き上げが求められていくことになると思いますが、これらのチャンスを活かし、今年からはじまる未来を明るいものにしていくべく、個々の会員の皆様の挑戦ををしっかりと支えていく観光協会でありたいと決意を新たにしております。

竜ヶ浜キャンプ場通信



昨年は4月のオープンから多くの地元の方にご利用いただき、誠にありがとうございました。新型コロナウイルスは5類感染症になり、多くの方が行動制限のない生活を過ごされるようになりキャンプ場も賑わいを見せておりました。更に10月には防災イベントを開催していただき、多くのお客様やスタッフの方に楽しんでいただきました。

今年は辰年ということもあり、竜ヶ浜キャンプ場も去年以上に飛躍できる年にしていけるよう準備し、皆様のご来場をお待ちしております。

★ウインドファーム風のたより

昨年は大月の事業者紹介に力を入れ、イベントを行いました。風車を見に来て下さるお客様は町外や県外の方



が大半で、その方たちに大月町の特産品や食を紹介したい思いからこのイベントにしました。今年も大月の魅力を伝えられるイベント盛りだくさんでがんばりたいと思いますので、ぜひご来場ください!

ウインドファーム一般開放予定

1/21(日) | 2/18(日) | 3/17(日) 毎月第3日曜日! ※雨天・強風の場合は中止とさせていただきます。

都市部で大月町の魅力をアピール

コロナでの自粛モードからも次第に解放され、この秋は町内外でさまざまなイベントが開催。コロナ以前の形に戻りつつある姿を見ることのできる大月町でも恒例の産業祭(マグロまつり)が開催されました。当協会スタッフは横浜、大阪、高知市内で行われた大規模のイベントに参加し、大月町の名産品とともに観光や地域の魅力を発信。以前来町や来県をしたことのあるお客様や、高知や大月に縁のある方、移住を検討されている方がイベントを楽しみに来場してください。話が弾むなど、沢山のアピール活動を行うことができました。また、高知市内で開催された土佐の豊穰祭内の『土佐丹王国2023』では土佐力豚屋の「土佐力豚はらみ井」が見事グランプリを獲得しました。



牧野ゆかりのイベント幕を閉じる

令和5年度に計6回で開催された、牧野富太郎博士と植物にゆかりの「おつき植物めぐり」が昨年末に無事幕を下ろしました。秋から冬にかけても、防災イベントとのコラボレーションや、森の色づくりと題した自然とアートを繋げるものなど、一年を通して大月町の新たな魅力と方向性を広げる有意義なチャレンジになりました。一例をあげると10月に竜が浜キャンプ場で開催された「防災植物教室」と「防災ワークショップ」では、自然の中で災害時にどういった植物が食べられるかといった知識を得られたり、災害時に役だつロープワークや防災グッズに触れたり、実際に野外で女性防火クラブが炊き出しを行い、沢山の気づきを得られたりと、防災イベントとして質の高い学びの場となり、今後も継続していくことが期待されています。新年もこうした可能性に挑戦していきたいと考えます。

『高知県体験プログラム安全管理ガイドライン』をしっかり守ってお客さんに安心して楽しんでいただけるよう努めましょう。



新年も地域に貢献するガイドを

大月町は季節を通して多くのバスツアーが来町されますが、秋は天候も安定し過ごしやすいため、大月町観光ガイド会としても趣向を凝らしたガイドツアーでご案内させていただきます。なかでも鉄道会社が企画した柏島からのグラスボートをセットにしたツアーではイルカの親子に遭遇することができ、大変喜んでいただきました。また秋ならではの、コーラルフルーツ農場のみかん狩りをセットにしたツアーも人気。秋が深まると道の駅で帰りにひがしやまもお土産にたくさん買っていたいただけます。ガイド会はガイドのみならず、こうした形で地域の魅力的な商材や観光を引き上げる役割も担い、今年も貢献していきたいと考えています。



柏島橋周辺で遭遇したイルカの親子

牧野富太郎 植物博士の足跡4

「ハマダイコン」

昨年春から放送のテレビドラマ「マリンマン」の主人公のモデル牧野富太郎博士が大月で発見、登録した植物を、ご紹介してきたこちらのコーナーも今回が最終回。第四回は海岸の砂地などでこれから3月から5月にかけて、薄紫色の可憐な花を咲かせてくれるハマダイコンです。全草に辛みがあつて、花や若芽、さや、根などを春に採取して薬味などとして利用できます。柏島などの春を代表する植物です。空気がやわらいで来たら浜で触れてみて。



写真 / 中地シュウ

新連載 大月むかし探訪「道の話」

「かいらさん」(姫ノ井く不動滝く清王)

大月のお祭りを紹介してきた前シリーズが一区切りついで、新年から大月の少し昔の話を読者のみなさんに思い出していただきたい、空想していただける新シリーズを開始する。このシリーズは筆者が生まれてない時代の話であることから、間違いや認識違いが出てくるのが予想され、あつた場合は観光協会まで、意見ご指摘をいただき、また詳しいお話をお聞かせいただけたら幸いです。



1960年代ごろの地図から描き起こした当時のルート(黄線は現在のルート)

第一回は道の話で(道の話は今後も展開を予定)「かいらさん」。道の駅から行くくと現在清王の中心を抜けたあたりから不動の滝を経由し、周防形に抜ける入り口があるが、そこから先の現在のルート(バイパス)が抜けたのが昭和30年代半ば。前述の不動滝の先に三又があり、周防形に抜けずに山手に登ると、姫ノ井の中心部に抜け現在の国道に合流する。このルートがかつての国道で、往時は人家も数軒あつた。姫ノ井以南から宿毛や高知市内に出る場合陸道の公共移動手段はバスのみで、このかいらさんは道も悪く運転を誤ると奈落の底という交通の難所でありバス酔いポイント。ここを通るのが憂鬱で仕方なかつたという逸話は枚挙にいとまがない。なお、かいらさんとはルート付近にある姫ノ井地区の河平神社に由来する。【かいらさんー姫ノ井く不動滝く清王】